



～キャリア教育と地域とのつながりを学ぶ～ 井吹の丘小学校 6年生の社会科見学を受入れ

ハイウィン株式会社（本社：兵庫県神戸市西区、代表取締役：林育志）は昨年引き続き、井吹の丘小学校児童 23 名教員 1 名、合計 24 名の社会科見学を受け入れました。本ニュースレターでは、社会科見学での様子をご紹介します。



金属を削る工作機械の前で説明を受ける児童たち

ものづくりってどんな仕事？—工場見学を通じて職業への理解を深めるきっかけに

今回の社会科見学では、「キャリア教育と地域について」学ばれたいということでした。未来の働き手となる児童に、企業の役割や仕事のやりがい、そして地域とのつながりについて理解を深めてもらうため、工場を備える神戸本社を見学いただきました。

▼ものづくり：「生活を豊かにする役割」と「続けていく事の大切さ」を学ぶ

まずは、当社の事業内容および製品の紹介をしました。ハイウィンでは、生活を豊かにするため、ものづくりに継続的に取り組むことが大切であること、また、会社の中には様々な役割を担う人がいて、それらの人々が連携して初めて製品が完成することをお伝えしました。そして当社の製品は他の企業の機器に搭載されることが多いことを踏まえ、当社はものづくりに携わる企業や人々を支えていることを説明しました。工場では、ボールね

じの組立工程や、工作機械が金属を高精度で加工する様子を間近で見学いただきました。



事業説明・製品紹介を受けている児童

金属を削る工程が機械にプログラムされていることを説明すると、児童達は学校で学ぶプログラ

ミングが実際のものづくりに活かされている事に、気づきを得ている様子でした。



工場内を歩いて見学しながらボールねじの組立工程の現場へ向かいます



工作機械を使ったデモンストレーションで仕事の風景を見学



10kgの重りを載せて簡単に動く直動製品の仕組みを熱心に聞く児童たち

▼地域に根差した企業を目指して

主に、新たな企業の誕生が地域社会にもたらす影響について説明しました。その中で、様々な



様々な職種が役割をもって働いている様子を見学

家族構成やライフスタイルを持つ人が働きやすい環境を整備することが、企業に求められているとお伝えしました。

神戸本社工場で働く従業員の約4割が神戸市西区に住んでおり、多くが地域の住民であることが特徴です。これからも神戸に根差し、地域との交流に積極的に取り組むこと、また、働く人々のライフスタイルやライフイベントに応じて、長く安心して働けるような仕組みづくりを進めていることも知っていただきました。

最後に：「キャリア教育と地域について」

児童の皆さんからは、「仕事を続ける理由」など、キャリアについて理解を深めようとする鋭い質問がありました。ものづくりを通じて社会に貢献できていることが、多くの従業員のやりがいにつながっていることを伝えましたが、仕事のモチベーションに踏み込んだ問いかけは、私たち従

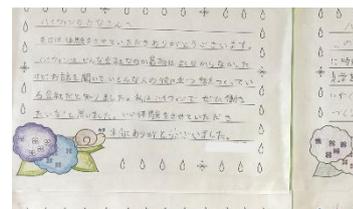
業員が働く意味や役割、そして働き甲斐について考える貴重なきっかけにもなりました。



今後も人々がそれぞれの立場で活躍できる地域社会の実現に向けて、地域とのつながりを大切に、企業として責任ある取組みを積極的に進めてまいります。



体験コーナーでは単軸ロボットを活用した「台湾式クレーンゲーム」操作体験を通し、ものづくりの面白さに触れる機会を持ちました



後日頂いた手紙には「ハイウインで働きたい」という感想も

本件に関するお問合せ先

ハイウイン株式会社 マーケティング企画課 e-mail: kikaku@hiwin.co.jp TEL: 078-997-8827 (代表)